

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧
P.2-3

< 第8週 > A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は、過去10年間で最高の値となっている / その他最新動向



注目すべき感染症
P.4-5

< インフルエンザ >

第8週の定点当たり報告数は15.9であり、第5~6週にかけて最も報告数が増加した後、第7週からは減少している



病原体情報
P.6-7

患者から分離・検出された病原体報告 - インフルエンザウイルス 2003/04シーズン / 冬季の感染性胃腸炎関連ウイルス 2003/04シーズン



速報
P.8

インフルエンザ脳症と診断された患児から分離されたAH3型インフルエンザウイルス、および患児の治療について - 大阪



海外感染症情報
P.9-10

インドネシアでのデング熱の流行 / バングラデシュでのニパ様ウイルス流行 - 更新 / リベリアでの黄熱流行



感染症の話
P.11-13

< 性器クラミジア感染症 >

本疾患はわが国で最も多い性感染症であり、若年層の女性に多い



読者のコーナー
< 今週は該当記事はありません >



グラフ総覧(8週)
P.14-20



8週のデータ
P.21-30



発生動向総覧

*「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」の改正(11月5日施行)により、対象疾患、分類が一部変更されました(2003年第43号「速報」参照)。

第8週コメント 2月26日集計分

全数報告の感染症

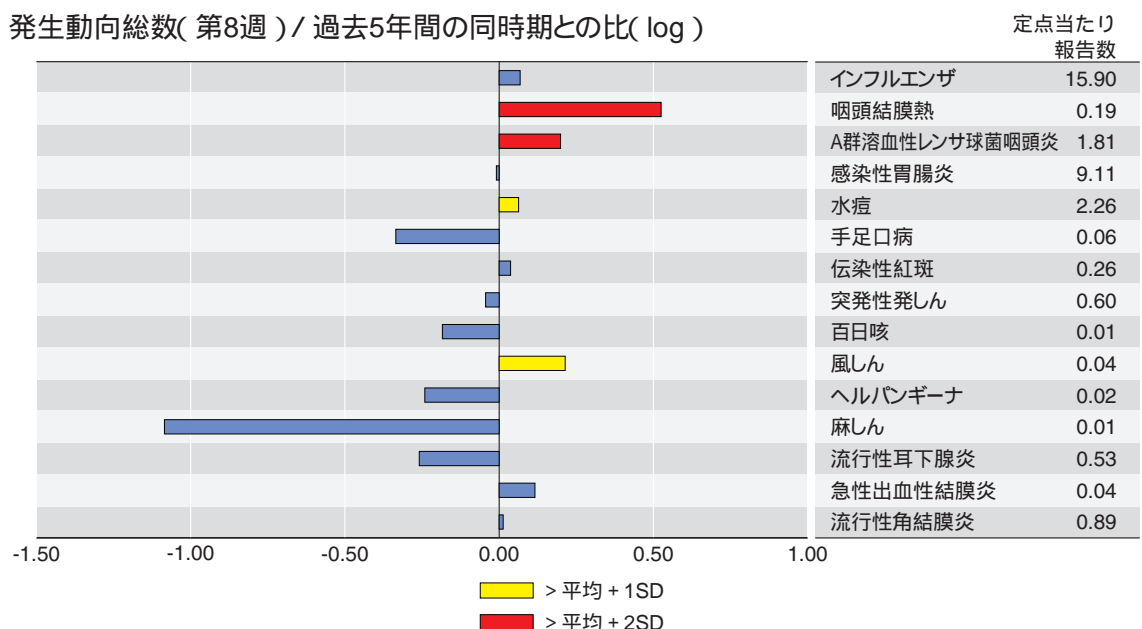
注意:これは当該週に診断された報告症例の集計です。しかし、迅速に情報還元するために期日を決めて集計を行いますので、当該週に診断された症例の報告が、集計の期日以降に届くこともあります。それらについては、発生動向総覧では扱いませんが、翌週あるいはそれ以降に、巻末の表の累積数に加えられることになります。宜しく御理解下さい。

- 1類感染症: 報告なし
 - 2類感染症: 細菌性赤痢 7例(推定感染地域: インド3例、インドネシア3例、ベトナム1例)
パラチフス 1例(推定感染地域: カンボジア)
 - 3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症 3例(いずれも有症者)
血清型・毒素型: O157 VT1・VT2(2例)、その他(1例)
年齢: 10歳未満(2例)、40代(1例)
 - 4類感染症: コクシジオイデス症 1例(推定感染地域: 米国(アリゾナ州))
つつが虫病 3例(東京都、静岡県、鹿児島県)
レジオネラ症 2例(71歳、81歳)
A型肝炎 4例(推定感染地域: 国内3例、フィリピン1例)
 - 5類感染症: アメーバ赤痢 4例(推定感染地域: 国内3例、不明1例)
ウイルス性肝炎 2例(ともに、B型 推定感染経路: 性的接触)
クロイツフェルト・ヤコブ病 1例(孤発性)
後天性免疫不全症候群 11例(無症候10例、AIDS 1例)
推定感染経路: 性的接触9例(異性間4例、同性間5例)、不明2例
推定感染地域: 国内8例、その他1例、不明2例
ジアルジア症 2例(推定感染地域: 国内1例、ミャンマー1例)
髄膜炎菌性髄膜炎 1例(56歳)
梅毒 3例(早期顕症I期1例、早期顕症II期1例、晩期顕症1例)
バンコマイシン耐性腸球菌感染症 1例(遺伝子型: VanC、菌検出検体: 胆汁)
- (補)他に、ウイルス性肝炎1例の報告があったが削除予定。また、報告遅れとして急性脳炎2例[第4週分(病原体不明、43歳)、第7週分(病原体不明、11歳)]の報告があった。

定点把握の対象となる5類感染症

全国の指定された医療機関(定点)から報告され、疾患により小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所)に分かれています。また、定点当たり報告数は、報告数/定点医療機関数です。

発生動向総数(第8週)/過去5年間の同時期との比(log)



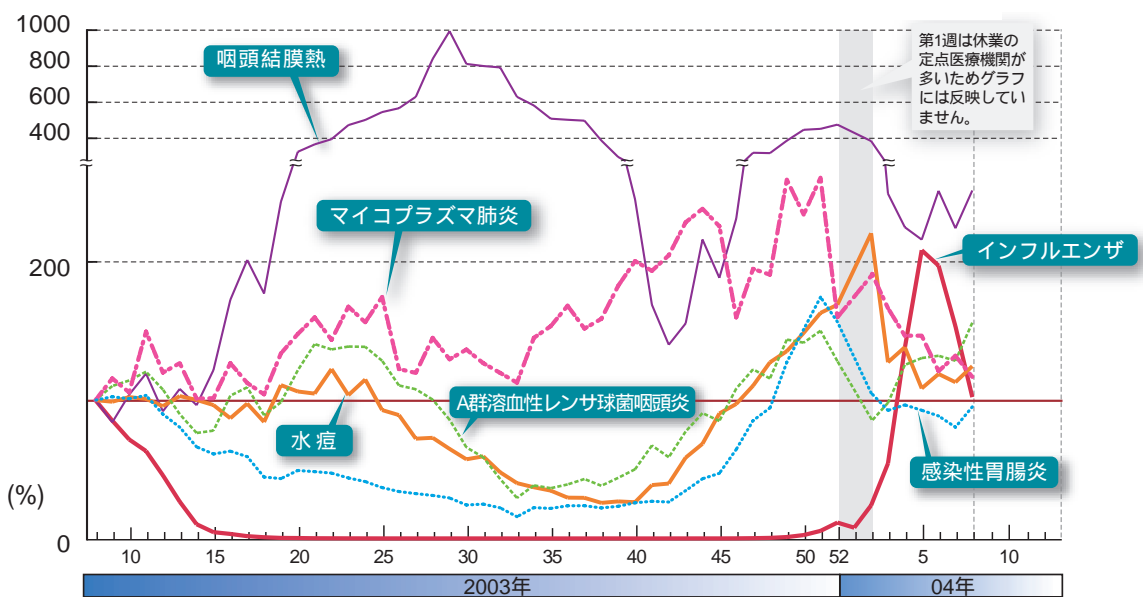
当該週と過去5年間の平均(過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均)の比を対数にてグラフ上に表現した。1標準偏差を超えた場合黄で、2標準偏差を超えた場合赤で色分けしている。

インフルエンザ定点報告疾患：インフルエンザの定点当たり報告数は第5週をピークに減少し始め、第8週も減少した。都道府県別では宮崎県(46.8)、大分県(42.7)が多い(「注目すべき感染症」参照)。

小児科定点報告疾患：咽頭結膜熱の定点当たり報告数は2003年第43週から増加傾向が認められ、2004年第2週から減少を続けた後、第6週は増加、第7週は減少し、第8週は再び増加した。過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してかなり多く、都道府県別では宮崎県(0.8)、岐阜県(0.6)、徳島県(0.6)が多い。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は第34週から増加傾向が認められた後、第51週をピークに減少したが、第3週から再び増加傾向が認められ、第8週も増加した。過去10年間で最高の値となっており、都道府県別では富山県(6.6)、山形県(5.1)、新潟県(5.0)が多い。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は第43週から増加し続けた後、第51週をピークに減少傾向が認められていたが、第8週は増加した。都道府県別では山口県(18.4)、宮崎県(16.2)が多い。水痘の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してやや多く、都道府県別では宮崎県(4.4)、福岡県(4.1)、鹿児島県(4.0)が多い。風しんの定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してやや多く、都道府県別では鹿児島県(0.5)、群馬県(0.3)が多い。RSウイルス感染症の報告数は、37都道府県から合計157例であった。

基幹定点報告疾患：マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は減少して0.18で、都道府県別では青森県(0.8)が多い。

主要疾患の過去1年間の週別定点当たり報告数の動き(第8週)



2003年第8週の定点当たり報告数を100%として各週の報告数値を換算し、過去1年間の増減を表している。



注目すべき感染症

インフルエンザ

第8週のインフルエンザの定点当たり報告数は15.9である。第5～6週にかけて最も報告数が増加し、第7週からは減少し、第8週ではさらに減少した。ピーク時の定点当たり報告数は昨シーズンより若干少ないものの、30を超えていた。第8週には、山口県、高知県を除くすべての都道府県で報告数は前週より減少した。

また、インフルエンザ様疾患に伴う2月15～21日での休校・学年閉鎖・学級閉鎖の合計は504件で、昨年同時期(958)より少なくなっている。

これまでに確認されたインフルエンザウイルスは、多くがAH3型である。

「インフルエンザ情報早期把握システム(New)」「インフルエンザのQ & A」「国内患者発生動向調査」「ウイルス分離状況」「抗体保有状況」「学校欠席者数」などインフルエンザの総合的な情報については、以下のURLを参照されたい。

<http://idsc.nih.go.jp/others/topics/newpage2.html>

インフルエンザの流行レベルマップについては、以下のURLを参照されたい。

<http://idsc.nih.go.jp/others/topics/inf-keiho/index.html>

図1 . 過去5シーズンのインフルエンザシーズン毎のトレンドグラフ

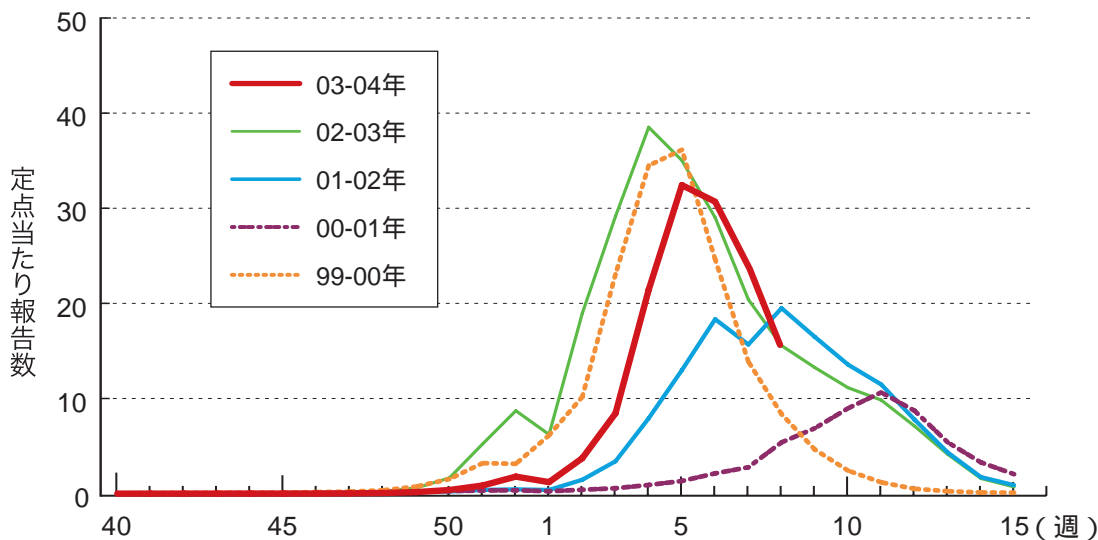
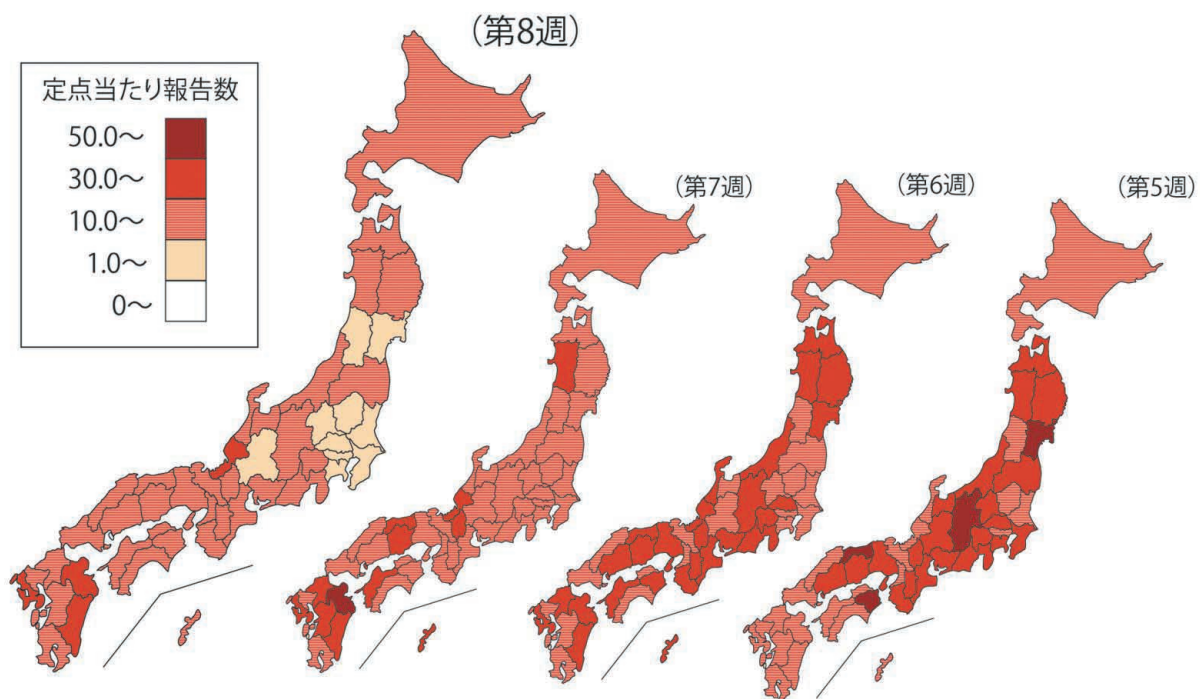


図2 . 都道府県別のインフルエンザ流行状況





病原体情報

* グラフはIASRホームページ(<http://idsc.nih.go.jp/iasr/index-j.html>)からの引用です。

各都道府県市の地方衛生研究所(地研)からの検出報告です。週別の報告数は、病原体が分離・検出された検体の採取日による週ごとの報告数です。地域別の報告数は、その地域に所在する地研からの総報告数を都道府県別に示しています。

(2004年2月27日現在報告分)

インフルエンザウイルス 2003/04シーズン

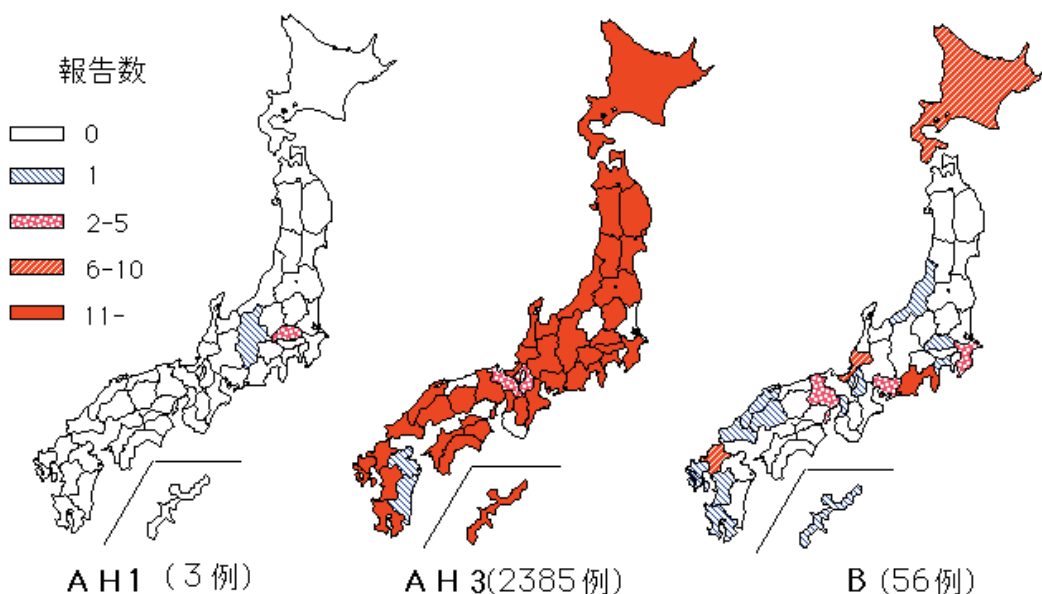
AH3型ウイルスの分離・検出報告がほとんどで、計2,385件(PCRのみの検出22件を含む)が報告されている。このうちN型別された212件はすべてN2であった。今シーズンの増加は昨シーズン(2002/03シーズン)よりやや遅く東日本から始まり、年明け以降は西日本からの報告が増加している。これまでに全国43都道府県から分離・検出が報告されている。2004年第3週から第8週までの分離・検出数は順に416、634、484、271、74、11である。

B型ウイルスの分離・検出報告は計56件(PCRのみの検出1件を含む)で、第47週以降は少ないながらも毎週分離されており、これまでに全国20道府県から報告されている。静岡県12、北海道10、福井県6、福岡県6、兵庫県4、千葉県3、愛知県2(IDWR2003年第46号速報記事参照)から複数の報告がされている。2004年第3週から第8週までの週別分離・検出数は5、6、5、8、9、2である。

AH1型ウイルスの分離報告は計3件で、第49週に分離された長野県の1件(IDWR2003年第51号速報記事参照)と、埼玉県で分離された2件(第49週、第50週各1)の報告である。埼玉県の2件のうちN型別された1件はN1であった。

都道府県別インフルエンザウイルス分離・検出報告状況、2003/04シーズン

(病原微生物検出情報：2004年2月27日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの分離報告を図に示した。



Infectious Agents Surveillance Report

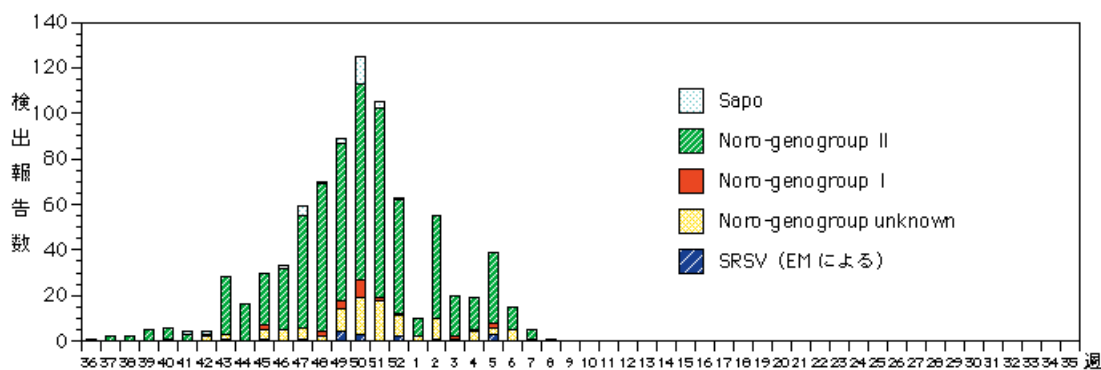
冬季の感染性胃腸炎関連ウイルス 2003/04シーズン

小型球形ウイルス(SRSV)の報告のほとんどがノロウイルスgenogroup(G)IIの報告である。ノロウイルスGIIは第43週から増加し始め、ピークの第50週には86、第51週には83の検出が報告された。2004年第3週から第8週までの検出数は順に18、14、31、10、4、1である。これまでに30都府県から計643件報告されている。報告の多い地域は秋田県80、岡山県67、岩手県61、愛媛県60、愛知県48、大阪府42などである。ノロウイルスGIは10都県から23件の報告があり、うち11件は秋田県から報告されている。サポウイルスは5県から26件が報告されている。愛媛県の20件中10件は第50週に幼稚園で起きた集団発生事例からの検出である。この他に、ノロウイルスG不明が98件(新潟県31、熊本県24、福井県14、奈良県14など7都県)、電頭のみによる検出が16件(岡山県11、栃木県5)報告されている。

ロタウイルスの検出報告は大きな増加はないが、A群が新たに福井から報告され、これまでに16都府県から計92件(香川県26、大阪府13、奈良県11など)報告されている。2004年第3週から第7週までの検出数は順に1、13、17、3、3、6である。この他、群不明が2件(愛媛県、福岡県各1)報告されている。

ロタウイルス検出例は1歳をピークにほとんどが5歳以下の小児からの検出である。ノロウイルス検出例の6割が5歳以下の小児であるが、小児では1歳が最も多い。

検出されたSRSVの内訳、2003/04シーズン (病原微生物検出情報: 2004年2月27日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した。





インフルエンザ脳症と診断された患児から分離されたAH3型インフルエンザウイルス、および患児の治療について - 大阪

患児は1歳7カ月の男児であり、2004(平成16)年1月22日に40度の発熱があり、近医を受診した。翌日より痙攣を伴い、意識レベルも低下した。インフルエンザ迅速診断キットでA型抗原陽性反応を示し、インフルエンザ脳症が疑われ転院した。急激な臨床症状などからインフルエンザ脳症と考え、直ちに治療を開始したが、1月25日に永眠した。本年度インフルエンザワクチン接種は受けていなかった。

1月23～24日にかけて採取された鼻汁、髄液、血液について、MDCK細胞にてウイルス分離を行った。鼻汁では顕著なCPEを示したが、髄液および血液は示さなかった。鼻汁からの培養液について、国立感染症研究所から分与された2003/04シーズン用インフルエンザウイルス同定キットでのHI試験(0.75%モルモット赤血球使用)を行った。その結果、抗A/Moscow/13/98(H1N1)血清、抗A/New Caledonia/20/99(H1N1)血清、抗B/Shandong(山東)07/97血清、および抗B/Johannesburg/05/99血清(ホモ価はそれぞれ1,280、320、40、640)に対しては、いずれもHI価<10であったが、抗A/Panama/2007/99(H3N2)血清、および抗A/Kumamoto(熊本)/102/2002(H3N2)血清(ホモ価いずれも2,560)に対しては、それぞれHI価320および1,280を示した。この結果から、今回患児から分離されたインフルエンザウイルスはAH3型であると同定された。なお、髄液および血液のRT-PCR法での検査は陰性であった。

当院入院時、意識状態は昏睡で血圧測定困難であった。検査ではAST 211 IU/l、LDH 1,594 IU/l、CK 388 IU/l、クレアチニン0.3mg/dl、血小板数正常、頭部CTでは脳浮腫はないと判断された。治療は、オセルタミビル投与、脳圧モニター、低体温療法、ペントバルビタール投与、インフルエンザ脳炎・脳症研究会(代表 森島恒雄・岡山大学教授)治療プロトコル(グロブリン・ステロイドパルス・AT-III・シクロスポリン)に従って開始した。また、ノルアドレナリン0.4～0.5 持続投与にて、収縮期血圧は80mmHg前後を維持し、尿量も1ml/kg/h以上を維持していた。脳温は入院時40.5であったが、脳圧は治療開始前17mmHg、以降10mmHgを超えなかった。翌日、心室細動が出現し、低体温中止、ノルアドレナリン減量、リドカイン投与にて一時的に軽快したものの反復し、除細動に反応せず、永眠した。

本症例は、痙攣、意識障害で発症したインフルエンザ脳症であるが、本症の死亡例にみられる強い脳浮腫・脳圧亢進は認められず、不整脈が直接的な死因と考えられた。ただし、サイトカインの代理マーカーと考えられる血清ネオプテリン値は517.4nmol/lと極めて高く、予後不良と判定される濃度であった。インフルエンザ脳症で早期に死亡する症例には、このような例が含まれている可能性が考えられる。

大阪市立環境科学研究所

村上 司 改田 厚 入谷展弘 春木孝祐

大阪府立公衆衛生研究所

森川佐依子 加瀬哲男 奥野良信

大阪市立総合医療センター

天羽清子 塩見正司 外川正生 石井武文 林下浩士



海外感染症情報

* 関連の情報やさらに詳しい情報については、FORTHホームページ(<http://www.forth.go.jp/>)をご覧ください。

インドネシアでのデング熱の流行

WHO/CSR 2004年2月26日

2004年2月26日現在、インドネシア保健省は2004年1月1日以来、ジャワ島内の全州とスマトラ島内の2州で、死亡者260名を含め患者14,626名(致死率1.8%)を報告した。デングウイルスの4種類の亜型全てが存在しているが、ウイルス3型が最も広く感染循環している。保健当局は、今回の流行の原因ウイルス亜型を特定するための検査を実施している。

保健省はウイルスを保有する蚊族を根絶するため、流行地での殺虫剤噴霧を強化し始めた。WHOとWHO協力センターNAMRU-2(Jakarta)が、診断のための検査に関して保健省を支援している。

バングラデシュでのニパ様ウイルス流行 - 更新

WHO/CSR 2004年2月26日

2004年2月26日現在、ニパ様ウイルスによる死亡者17名を含む患者22名の報告がWHOになされた。(前回報告<http://www.who.int/csr/don/2004_02_12/en/>参照)

患者総数のうち、11名が検査によって診断確定している。

さらに51名が現在調査中である。患者数の変化は、WHOと協力機関Global Outbreak Alert and Response Network、保健省からの専門家によって、現在実施されている症例定義とサーベイランスデータの見直しの結果である。

感染はRajbari地区、Manikganj地区、Jaipurhat地区、Naogang地区、Faridpur地区の5つの地区で発生している。

脳炎に関する臨床的管理と、病院を基盤としたサーベイランスのためのガイドラインが作成された。生態学的、血清学的有病率、症例対照の各研究がまもなく完了する。

リベリアでの黄熱流行

WHO/CSR 2月25日

<http://www.who.int/csr/don/2004_02_25a/en/>

<<http://www.who.int/mediacentre/releases/2004/pr16/en/index.html>>

リベリア: 黄熱緊急事態を制圧するために、WHOとUNICEFが迅速な対応を開始。

モンロビア/ジュネーブ発: 国際的な保健機関は2004年2月24日、黄熱緊急事態と制圧のために、リベリア政府と一致協力すると発表した。

WHOとUNICEFはリベリア厚生省と共同して、緊急大規模ワクチン接種計画を開始している。それらの国連機関は本日、流行制圧を援助し、難民キャンプや都市地域の莫大な人口に爆発的流行を起こすことを防ぐため、130万米ドルの資金提供を要請した。

「当地では流行が差し迫っている」、「過去14年間にわたる内戦が、リベリアの保健インフラ機構を文字通り破壊しており、黄熱はきわめて致死率の高い疾患である。入院できた患者においても、致死率は最高50%にも達する」とリベリア国内のWHO関係者が指摘した。

「WHOは、検査による確定患者1名が発生すれば流行と捉えているが、既に確定患者3名を確認し、数名の疑い例がコートジボワール・アビジャンにあるパスツール研究所で診断検査されている」と付け加えた。確定例3名と、疑い例中の2名は既に死亡している。

UNICEFは、リベリアで現在入手可能なワクチンは8万回接種分にも満たないと述べた。同機関は、生後6カ月以上の522,000名が緊急ワクチン接種の必要があると述べている。WHOとUNICEFは、流行制圧には130万米ドルの費用が必要であると推定している。この基金は、ワクチン、予防接種器具、実施費用、および疫学的監視と民衆啓発強化の費用も含む。

リベリアはアフリカ西部の黄熱ベルトの中に位置し、1995年から2002年までの期間に少なくとも6回の黄熱流行が報告されている。黄熱は、サルからヒト、またはヒトからヒト感染という形で、蚊族によって媒介されるウイルス性出血熱である。リベリアでの内戦によって、黄熱が土着する辺境地域から人口の多い都市地域に爆発的な人口が流入し、黄熱感染伝播に理想的な状況を作り出した。約50万人が国内難民となり、極めて不衛生な状態で、ごみごみしたキャンプやうち捨てられた建物廃墟に住んでいる。4月に雨季が到来すると、黄熱にさらに好適な環境条件が整う。

ワクチン接種計画は、それぞれギニアとコートジボワールに国境を接するBong郡とNimba郡を最初に対象とする予定である。



感染症の話

性器クラミジア感染症

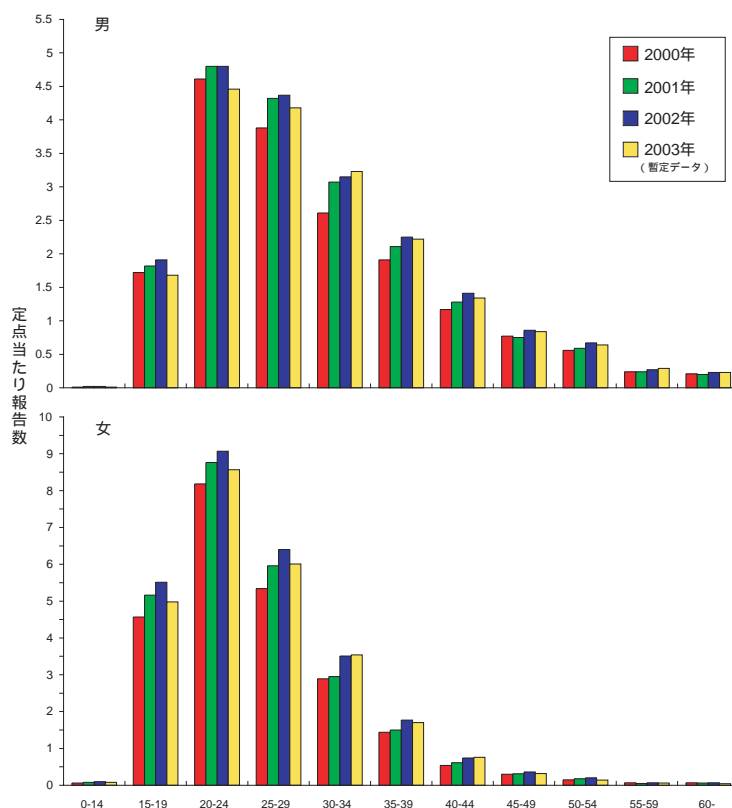
本疾患はわが国で最も多い性感染症(STD)である。感染症法では淋菌感染症、性器ヘルペスウイルス感染症、尖圭コンジローマとともに、5類感染症として性感染症定点からの報告が義務付けられている。本疾患は感染症法施行以前には、結核・感染症サーベイランス事業の性感染症サーベイランス(旧サーベイランス)でも対象疾患に挙げられていたが、感染症法になってからの届け出状況をみると、女性患者の報告数が急増している。その要因としては、旧サーベイランスに比べて感染症法では産婦人科定点が増加したこともあるが、実際に女性感染者数が増加傾向にあることも推察される。

妊婦検診において正常妊婦の3～5%にクラミジア保有者がみられることから、自覚症状のない感染者はかなりあるものと推測されている。

疫学

若年層の女性に多い。成人では性行為により感染するが、新生児は母親からの産道感染である。クラミジア感染は男女とも性的活動の活発な若年層に多いが、特に女性でその傾向が目立っており、29歳以下では男性患者数を上回っている(図1)。最近では初交年齢の低下に伴って、10代の女性の感染率の高さが将来の不妊につながるとして憂慮されている。女性では感染を受けても自覚症状に乏しいため、診断治療に至らないことが多く、無自覚のうちに男性パートナーや出産児へ感染させることもあるので、注意が必要である。また、口腔性交による咽頭への感染も少なくないことが報告されている。

図1 . 性器クラミジア感染症の年齢群別発生状況 (感染症発生動向調査)



病原体

クラミジア・トラコマチス(*Chlamydia trachomatis*)が病原体で(写真1)、人工培地では増殖できない。本病原体はトラコーマの起病菌であることからこの名前がつけられたが、現在ではSTDの主要病原体として有名である。クラミジア・トラコマチスには2つの生物型(Lymphogranuloma venereum; LGV, Trachoma)がある(生物型Mouseは、最近別のクラミジア種となった)。生物型LGVは性病性リンパ肉芽腫症(単径リンパ肉芽腫症、第四性病ともいわれる)を起こすが、わが国では輸入例が散見されるものの、近年ほとんど発生をみない。生物型Trachomaは血清型により、トラコーマ流行地で眼疾患から検出されるクラミジア(血清型A～C)と、非流行地で泌尿生殖器や新生児の眼から検出されるクラミジア(血清型D～K)に分けられる。わが国はトラコーマ非流行地であり、泌尿生殖器疾患患者や新生児の眼から検出されるクラミジアの血清型はD, E, F, Gが主体である。

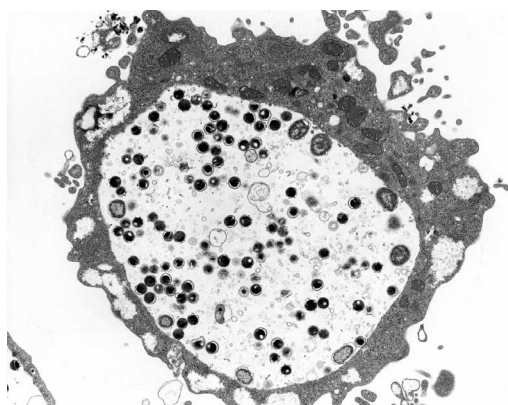


写真1 . *Chlamydia trachomatis*の電子顕微鏡像

臨床症状

男性では尿道炎が最も多い。また、若年層の精巣上体炎の原因ともされている。排尿痛、尿道不快感、そう痒感などの自覚症状がでる。淋菌性尿道炎に比べて潜伏期間は長く、2～3週間とされる。女性では子宮頸管炎、骨盤内付属器炎(PID)、肝周囲炎(Fitz-Hugh-Curtis症候群)、不妊などを起こすが、自覚症状の乏しい場合が多い。そのため、潜伏期間を特定するのは困難であるとされる。また、妊婦の感染は新生児のクラミジア産道感染の原因となり、新生児肺炎や結膜炎を起こす。また、淋菌との重複感染も多い。淋菌性尿道炎(gonococcal urethritis; GU)の治療にもかかわらず症状が軽減しない場合は、クラミジアの感染が疑われる(淋病後尿道炎、postgonococcal urethritis; PGU)。咽頭への感染がある場合は、しばしば頸部リンパ節腫脹を認める。LGVの感染では鼠径リンパ節の腫脹、化膿を起こし、致命的ではないが、放置すれば陰部の象皮病などの原因となる。

病原診断

病原体分離が最も信頼性が高いが、時間を要すること、細胞培養など特殊な技術を必要とすることなどのために、抗原あるいは遺伝子検出法が用いられている。血清診断もあるが、確定診断には抗原あるいは遺伝子診断との併用が望ましい。

抗原検査では市販キットの入手が可能である。塗抹標本を蛍光抗体染色(DFA)するものと、抗原物質を酵素抗体法(EIA)で測定するものがある。前者は感度が良いが、粒子の確認が必

要なことから判定に熟練を要する。EIAは簡便な方法であるが、クラミジア属の共通抗原であるリポ多糖体(LPS)を標的の抗原としているために、感染クラミジア種の鑑別はできない。

遺伝子検出においても市販キットの入手が可能である。遺伝子増幅法(NAT)が主体であるが、いずれもクラミジア・トラコマチスに共通のプラスミドDNAやリボゾームRNAが標的遺伝子である。検出感度は良いが、検体中に遺伝子増幅阻害物質があると偽陰性になる。さらに、DNA検出ではクラミジアの生死にかかわらず陽性となることから、治療後の判定には注意を要する。

抗体測定についても市販キットが入手可能である。通常EIAが用いられる。クラミジア全菌体を抗原とする方法と、抽出した種特異蛋白あるいは合成ペプチドを抗原とする方法がある。抗体は感染初期には出現しないことが多く、治療しても残存する。したがって、抗体測定法は診断の補助手段として考えた方がよいが、PIDなど深部の感染では抗原検出が困難なことから、本法が用いられる。

治療・予防

治療には抗菌薬、とくにテトラサイクリン系薬、マクロライド系薬、およびニューキノロン系薬が使用される。クラミジアは男女間でお互いに感染させるいわゆるピンポン感染があるため、両者の治療を同時に行うことが重要である。

予防にはコンドームの使用、感染が疑われる相手との性的交渉を避けるなどである。

感染症法における取り扱い

性器クラミジア感染症は5類感染症定点把握疾患に定められており、全国約900カ所の性感染症定点より毎月報告がなされている。報告のための基準は以下の通りとなっている。

診断した医師の判断により、症状や所見から当該疾患が疑われ、かつ、以下のいずれかの検査による診断がなされたもの

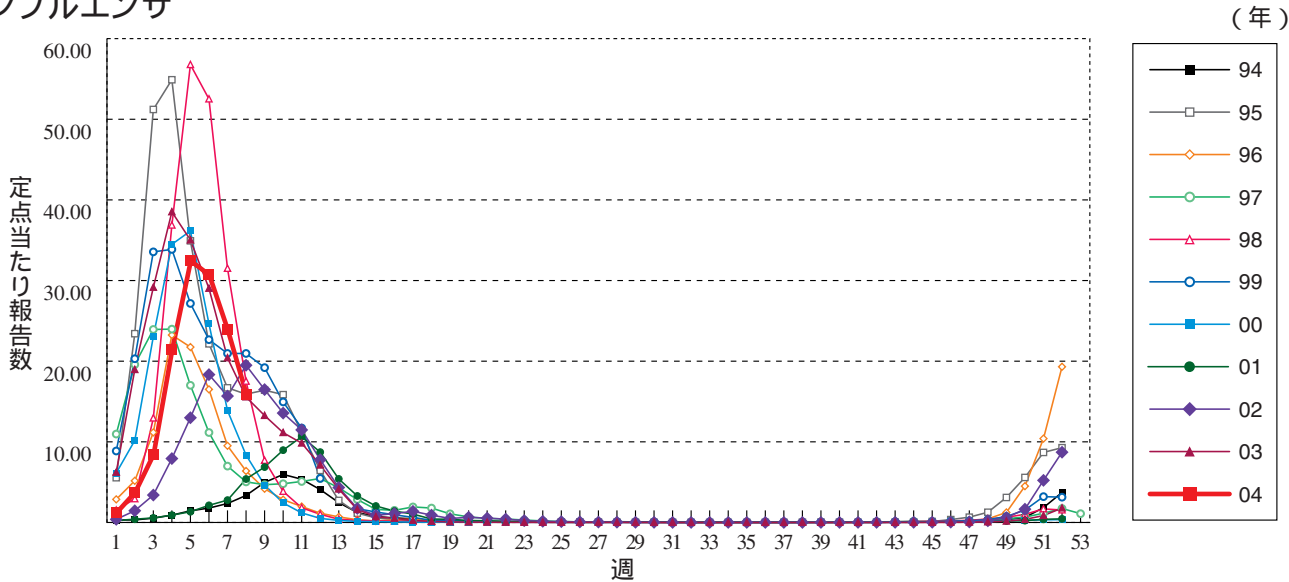
- ・病原体の検出
例：尿道、性器から採取した材料からの培養、蛍光抗体法など
- ・病原体の抗原の検出
例：尿道、性器から採取した材料からの酵素抗体法など
- ・病原体の遺伝子の検出
例：尿道、性器から採取した材料からの検出(PCR法等)など

なお、スクリーニングによる病原体・抗原・遺伝子に関する検査陽性例は報告対象に含まれるが、抗体陽性のみの場合は除外する。

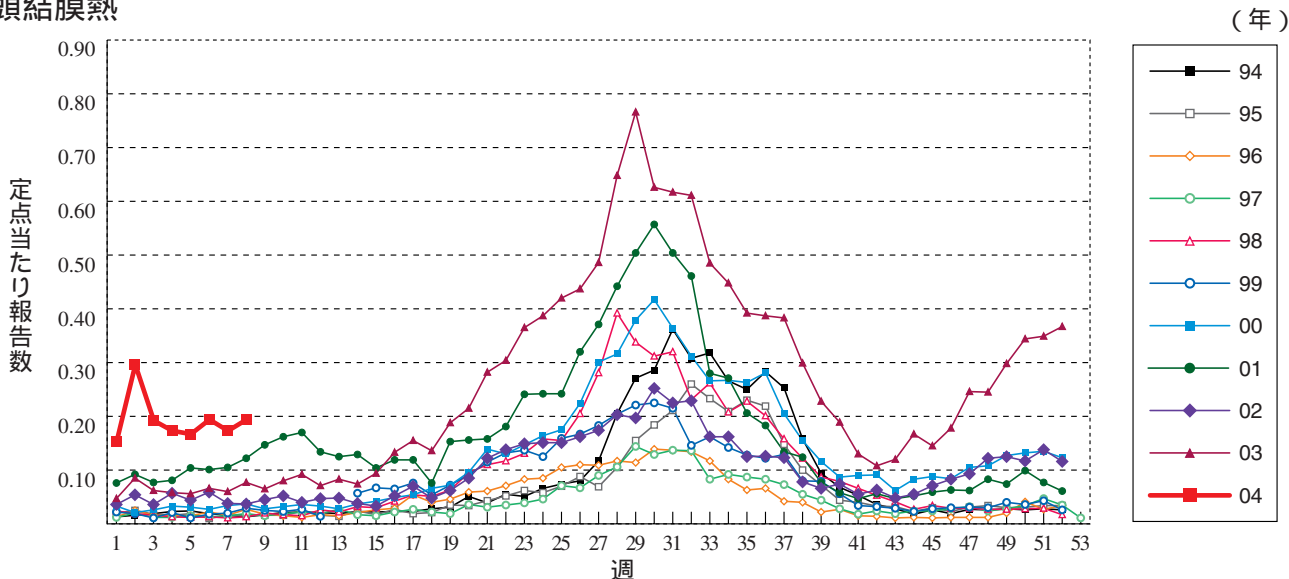
(タイ国立衛生研究所機能向上プロジェクト 萩原敏且、
国立感染症研究所感染症情報センター 木村幹男)

グラフ総覧(8週)

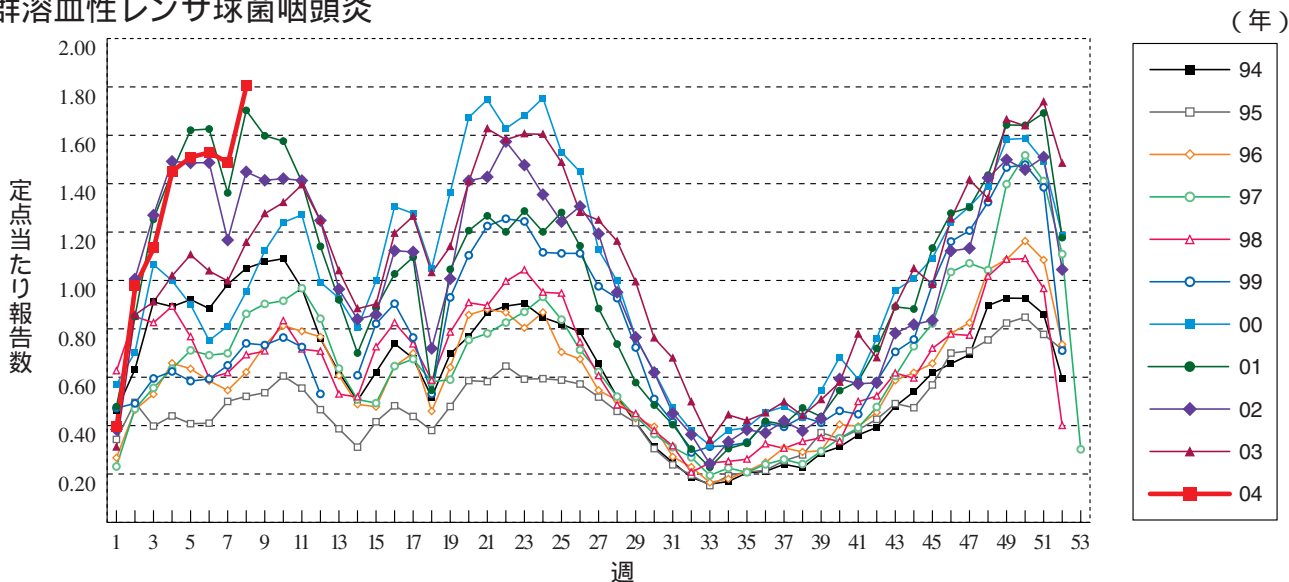
インフルエンザ



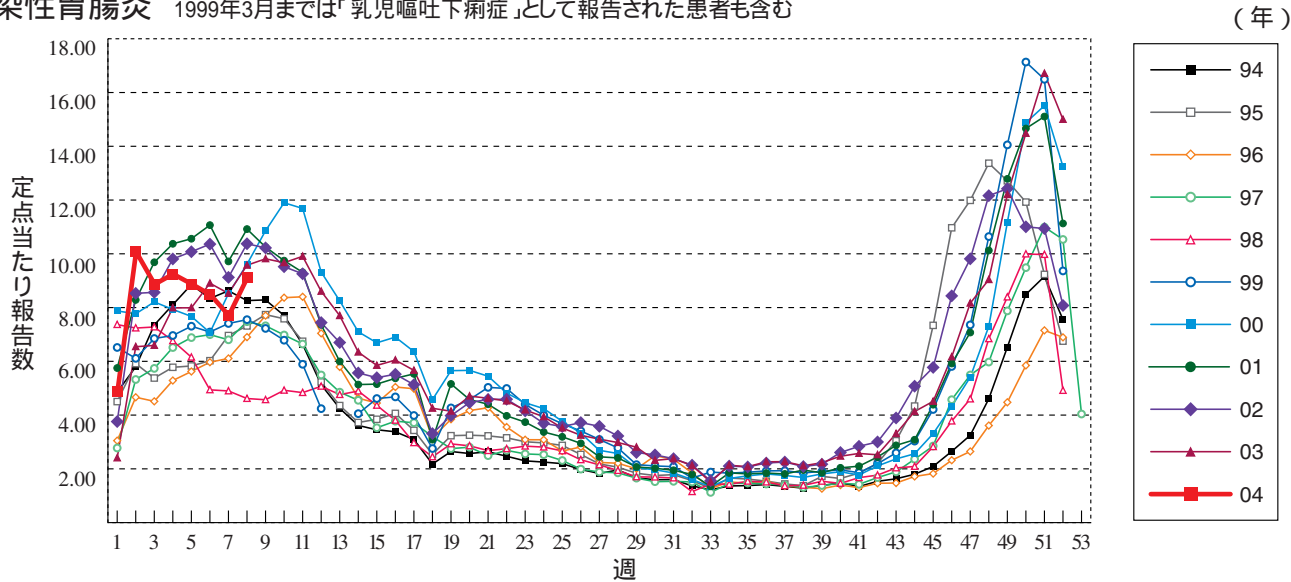
咽頭結膜熱



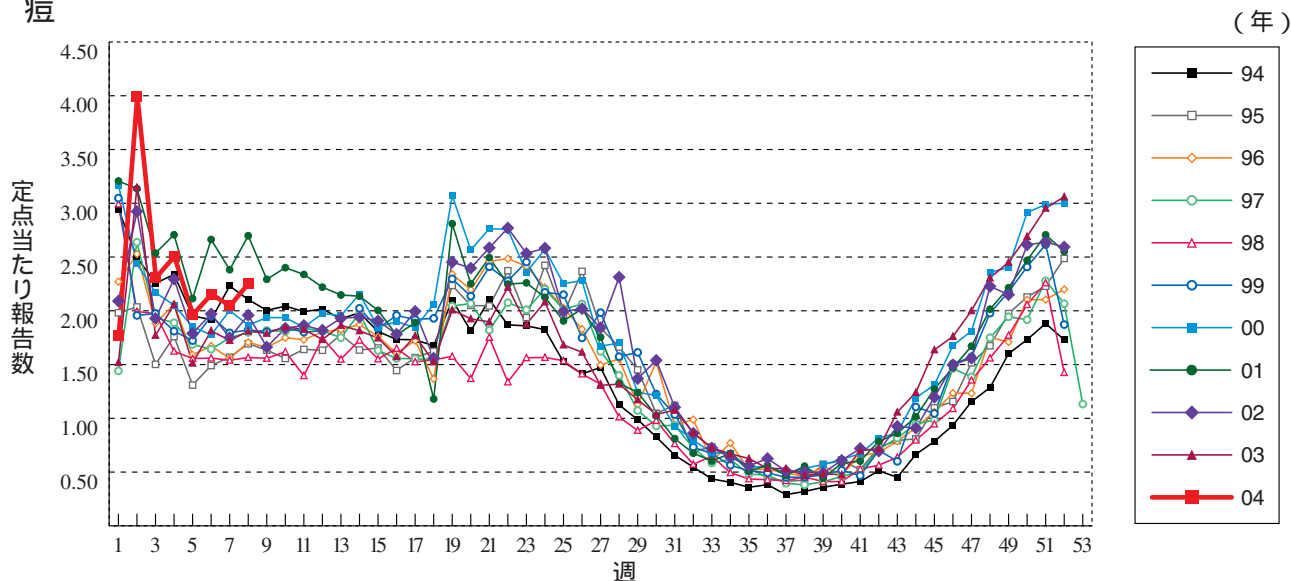
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



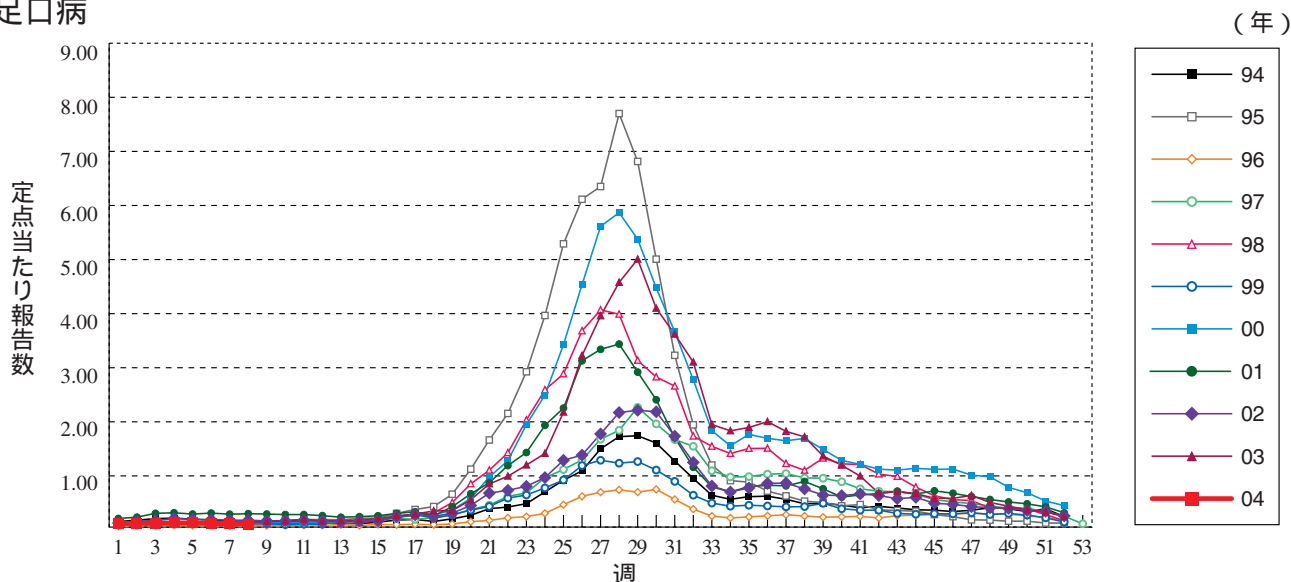
感染性胃腸炎 1999年3月までは「乳児嘔吐下痢症」として報告された患者も含む



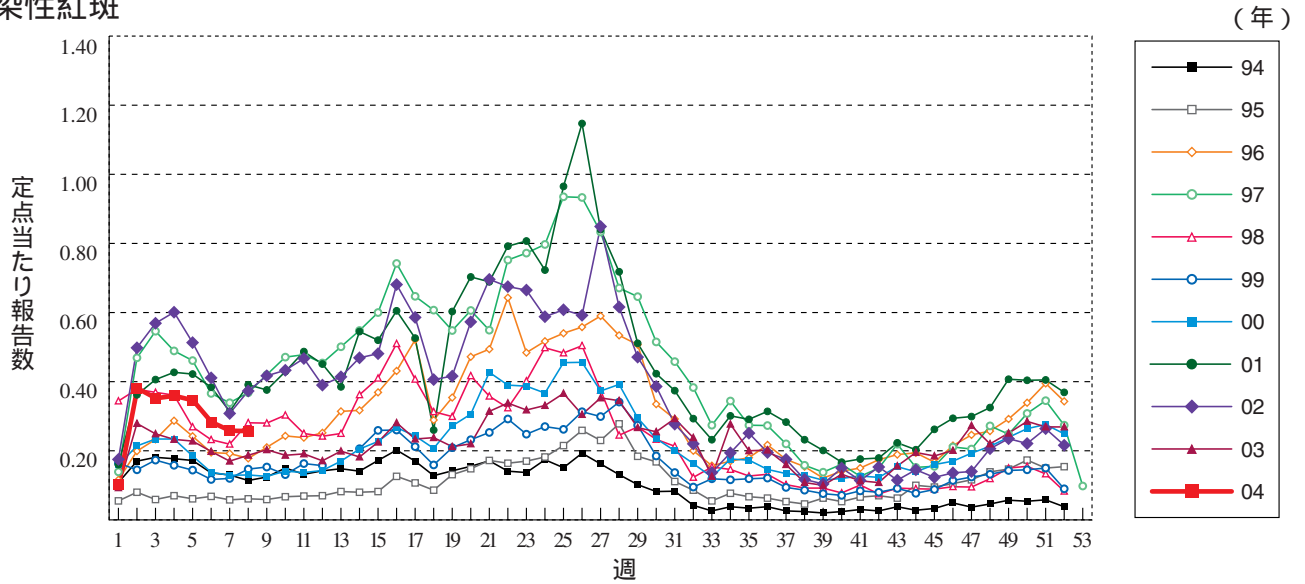
水痘



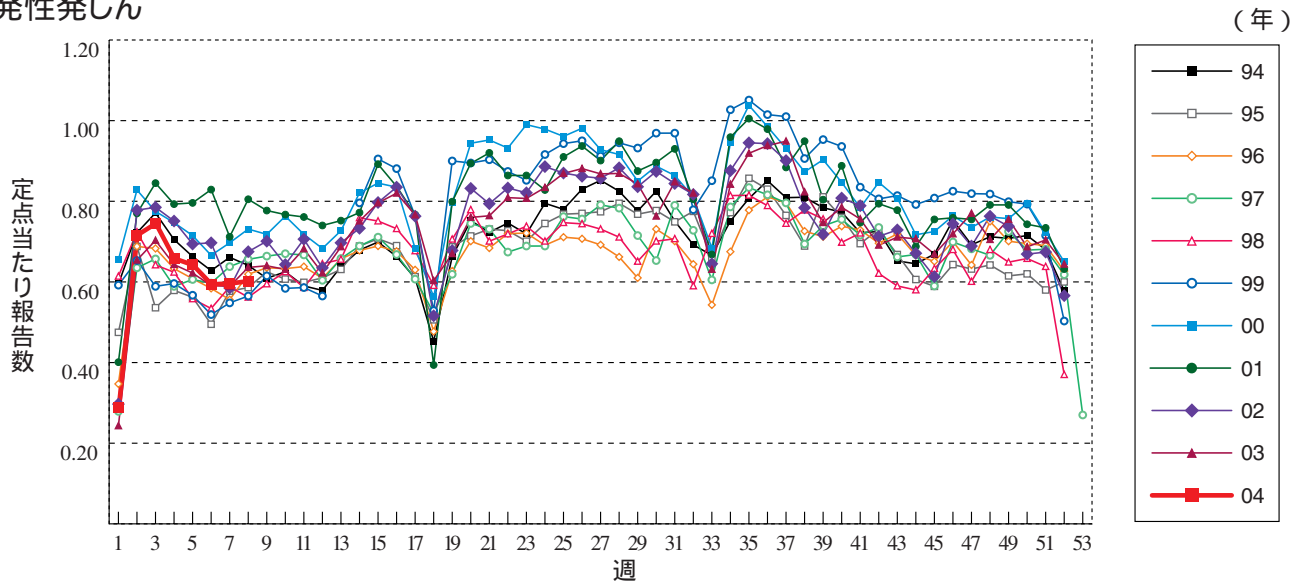
手足口病



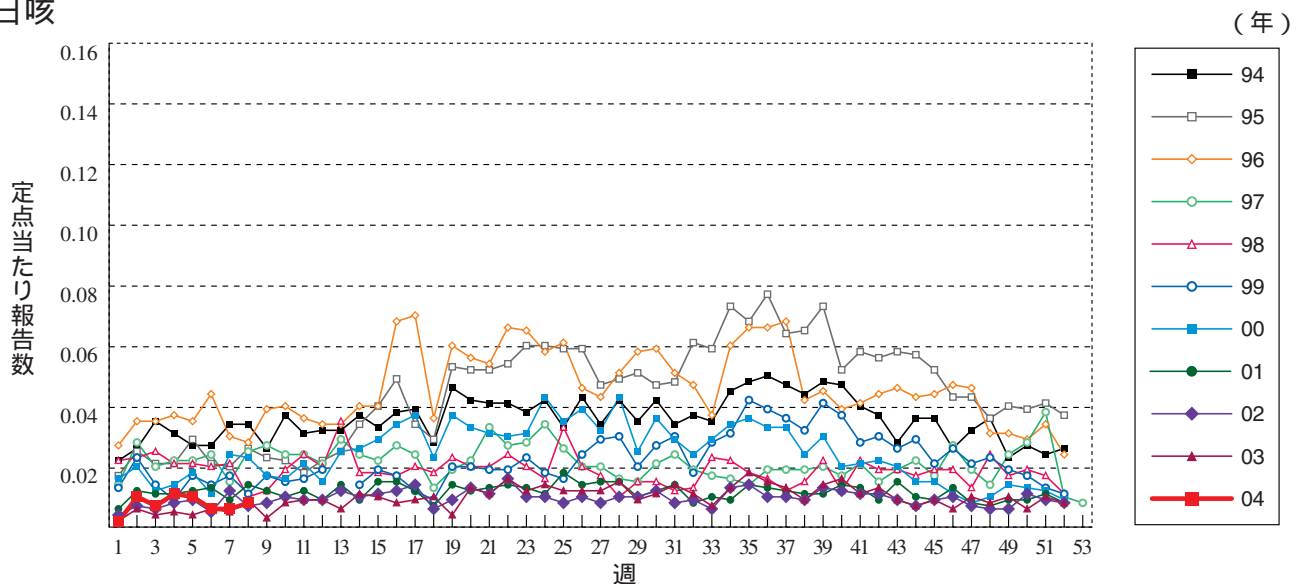
伝染性紅斑



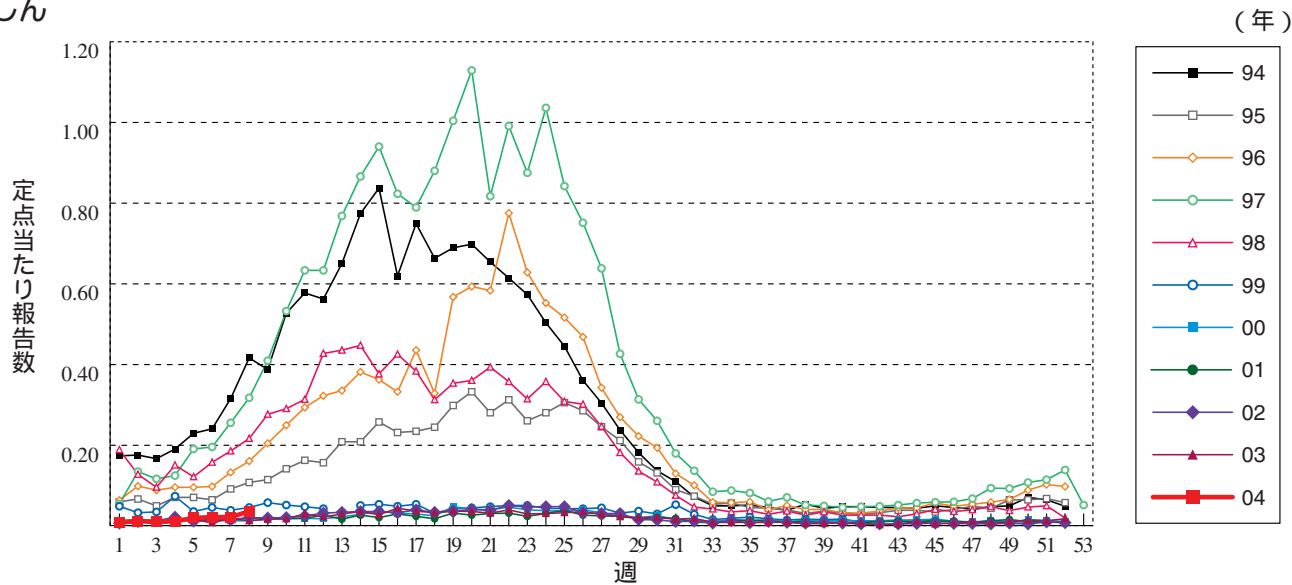
突発性発しん



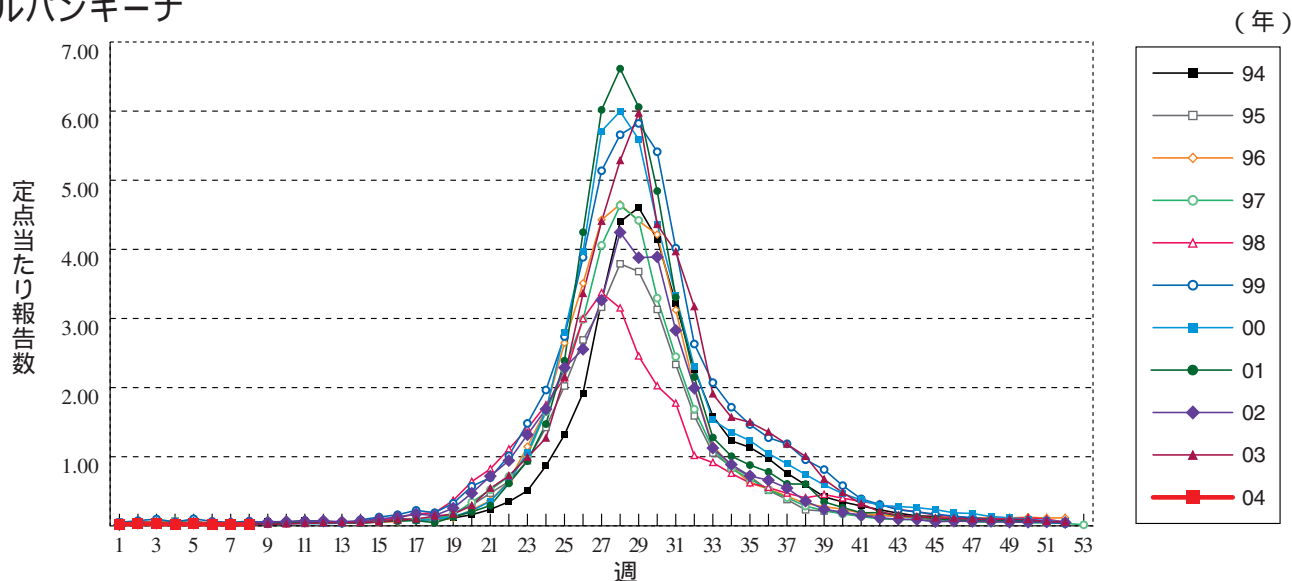
百日咳



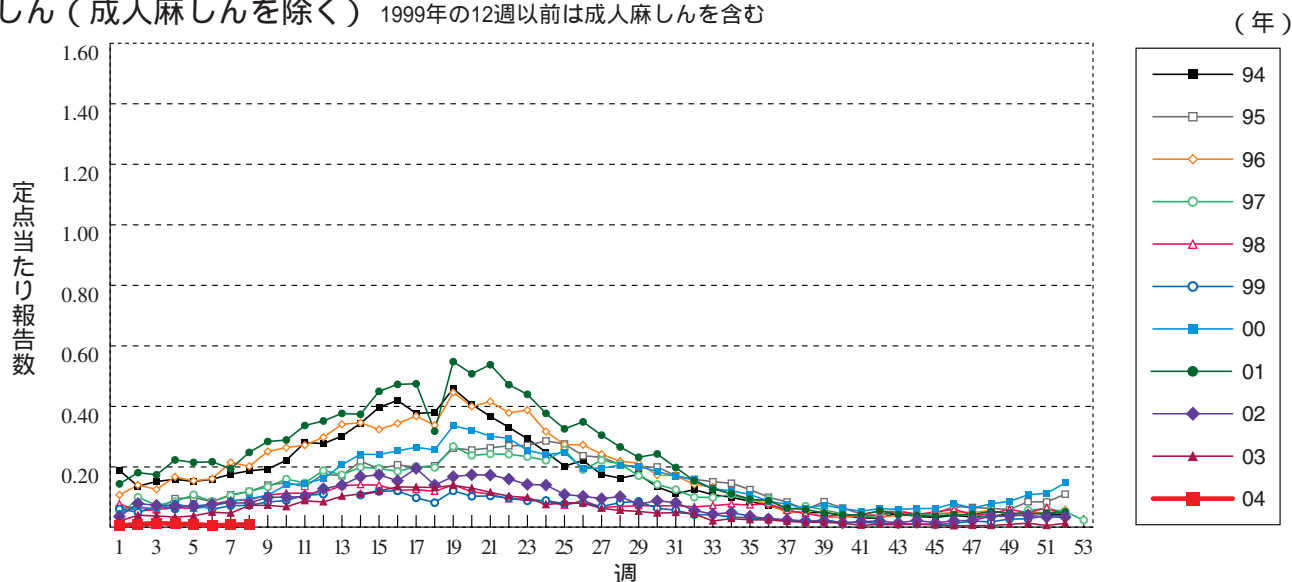
風しん



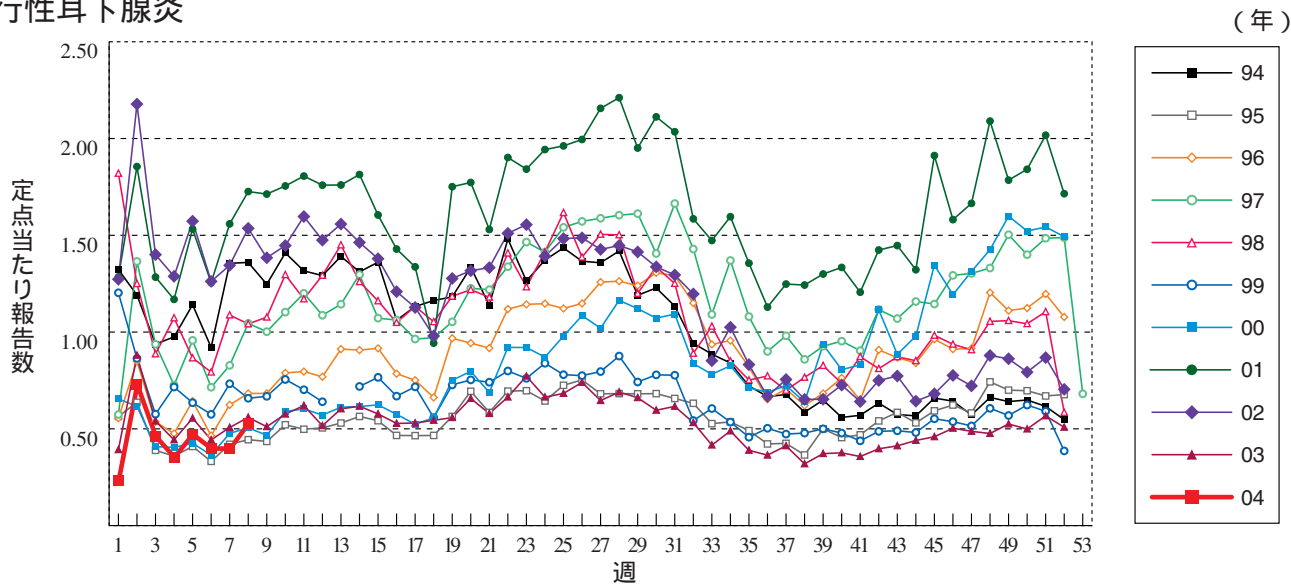
ヘルパンギーナ



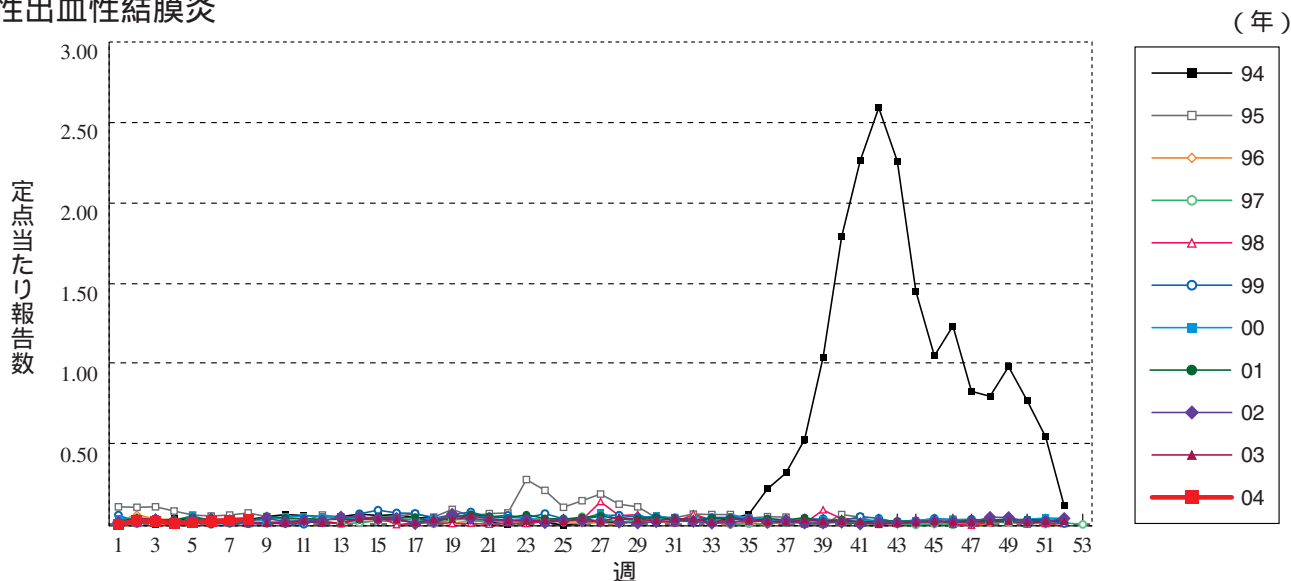
麻しん (成人麻しんを除く) 1999年の12週以前は成人麻しんを含む



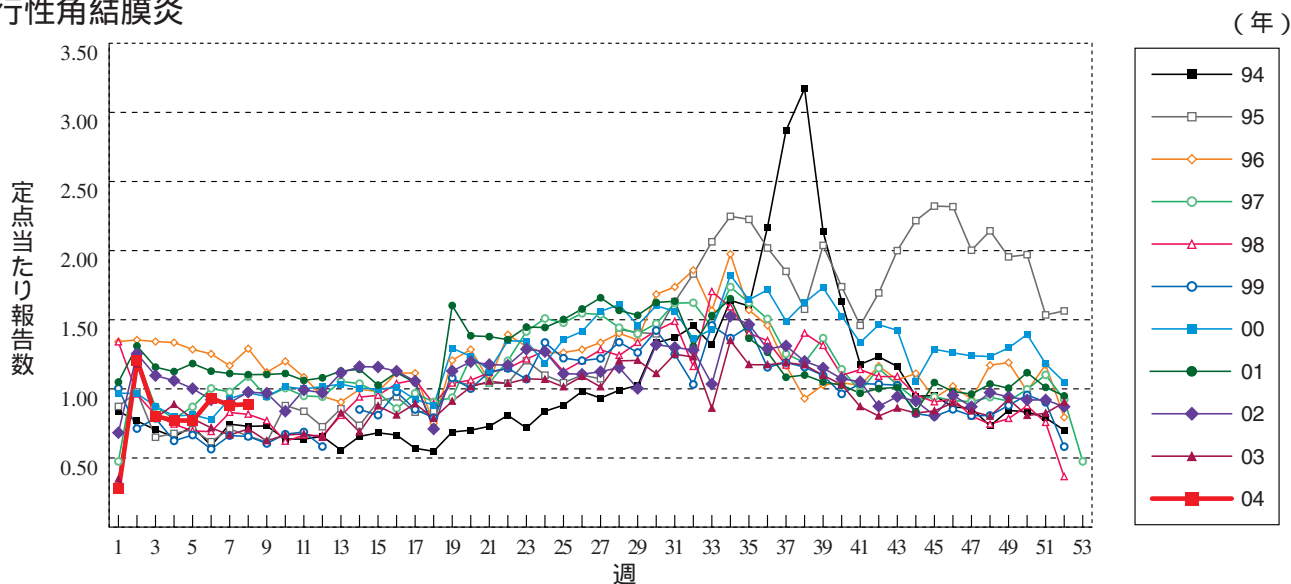
流行性耳下腺炎



急性出血性結膜炎

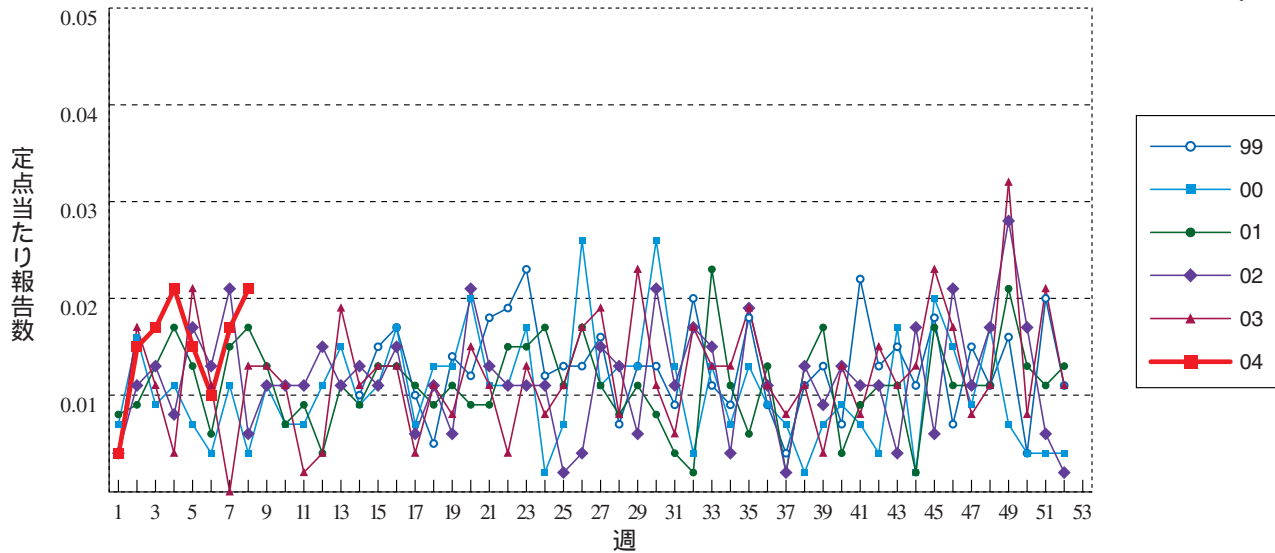


流行性角結膜炎



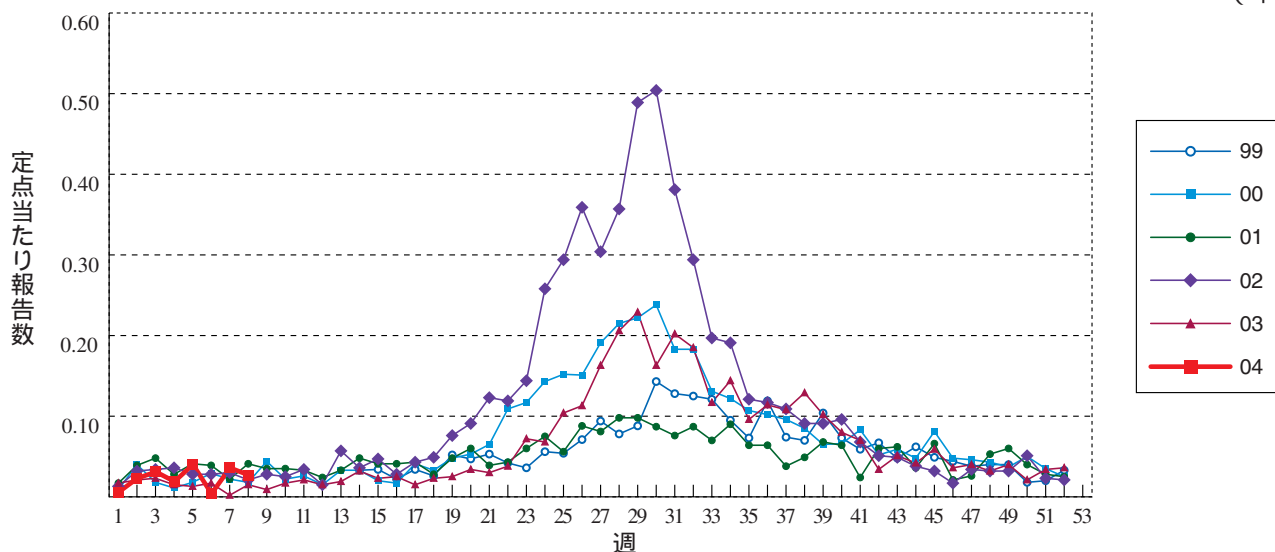
細菌性髄膜炎

(年)



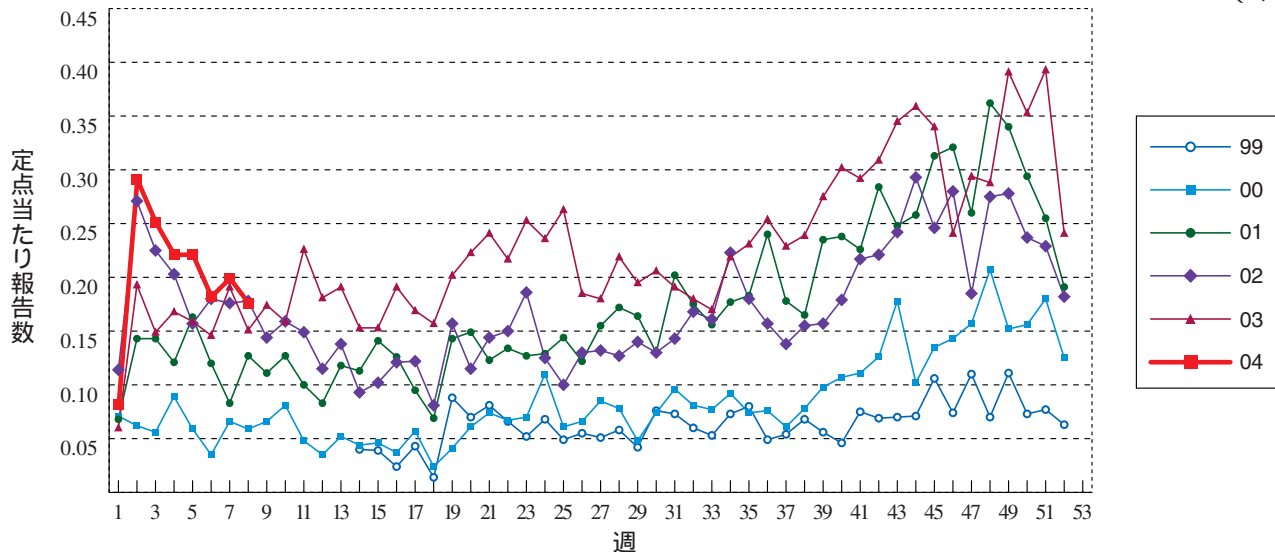
無菌性髄膜炎

(年)



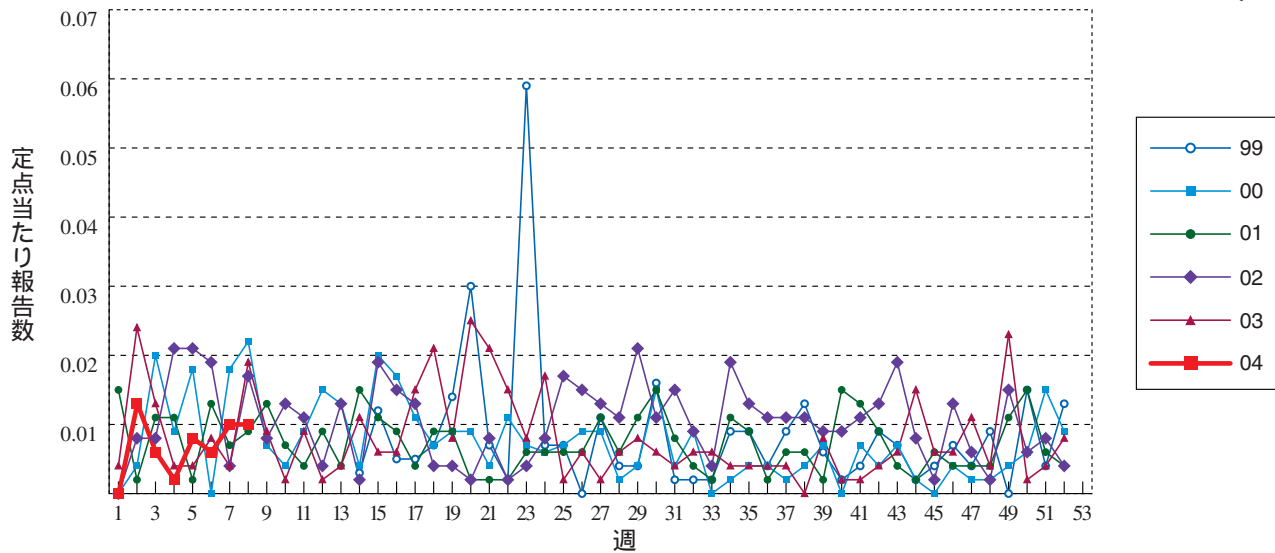
マイコプラズマ肺炎

(年)



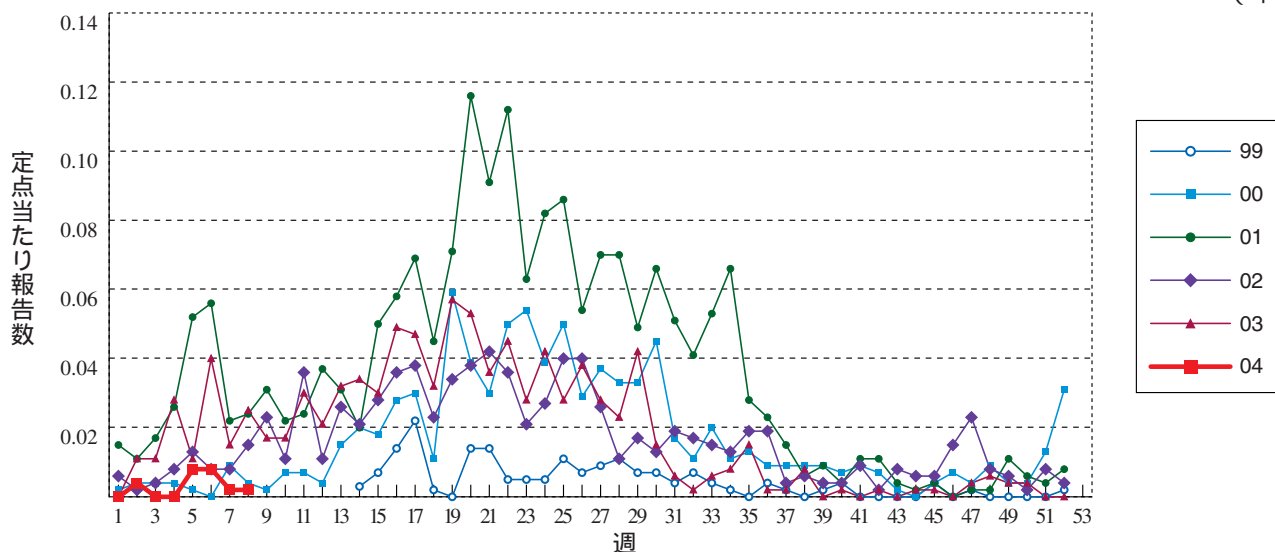
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)

(年)



成人麻疹

(年)





8週のデータ

注)表中の報告数は2月26日集計分であり、その後の報告は次週以降の累積に反映されます。
表の最後の注釈を参照して下さい。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

平成16年8週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		ペスト		マールブルグ病		ラッサ熱		コレラ		細菌性赤痢		腸チフス		バラチフス	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	7	44	-	1	1	3	
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	4	-	-	-	-	
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	12	-	-	-	1	
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-	
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	1	2	
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	5	-	1	-	-	
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成16年8週

	急性灰白髄炎		ジフテリア		腸管出血性大腸菌感染症		アメーバ赤痢		エキノコックス症		黄熱		オウム病		回歸熱		ウイルス性肝炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	3	48	4	63	-	7	-	-	-	4	-	-	3	34
北海道	-	-	-	-	-	-	-	3	-	7	-	-	-	-	-	-	-	1
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
栃木県	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
千葉県	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	11	-	17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
神奈川県	-	-	-	-	1	2	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
新潟県	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2
長野県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	1	-	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2
三重県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	6	-	4	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2
兵庫県	-	-	-	-	-	1	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
和歌山県	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
山口県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
福岡県	-	-	-	-	-	1	1	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
佐賀県	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
宮崎県	-	-	-	-	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成16年8週

	Q 熱		狂 犬 病		クリプト スポリジウム症		クロイツフェルト ・ヤコブ病		劇症型溶血性 レンサ球菌感染症		後天性 免疫不全症候群		コクシジ オイデス症		ジアルジア症		腎症候性出血熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	1	1	24	-	5	11	107	1	1	2	7	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	1	-	1	-	2	2	32	-	-	-	1	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	2	-	-	4	10	1	1	-	-	-	-	
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4	-	-	-	-	-	-	
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	-	-	-	-	-	-	-	
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	1	-	-	-	2	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	1	2	1	2	15	-	-	1	3	-	-	
兵庫県	-	-	-	-	-	-	2	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	1	-	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成16年8週

	髄膜炎菌性髄膜炎		先天性風しん症候群		炭疽		つつが虫病		デング熱		日本紅斑熱		日本脳炎		梅毒		破傷風	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	1	4	-	-	-	-	3	43	-	1	-	-	-	-	3	66	-	6
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1
茨城県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	1	-	-	-	-	1	5	-	1	-	-	-	-	1	10	-	-
神奈川県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
静岡県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
山口県	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	1
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	6	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	1	22	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成16年8週

	バンコマイシン 耐性腸球菌感染症		ハンタウイルス 肺症候群		Bウイルス病		ブルセラ症		発しんチフス		マラリア		ライム病		レジオネラ症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	1	6	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	2	15	
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-
秋田県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	2	-
神奈川県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成16年8週

	重症急性 呼吸器症候群		痘 そ う		E型肝炎		ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む)		A型肝炎		高病原性鳥 インフルエンザ		サ ル 痘		ニバウイルス 感染症		ポツリヌス症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	2	-	-	4	30	-	-	-	-	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-	-	1	-	-	1	4	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別 平成16年8週

	野 兎 病		リッサウイルス感染症		レプトスピラ症		急性脳炎		バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

全数把握疾患表注釈

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」の改正(施行日:平成15年11月5日、IDWR週報2003年43号参照)により、全数把握疾患の対象疾患、分類、疾患名の記載方法が一部変更されました。

表でみる「重症急性呼吸器症候群」以降の14の疾患は新システムでの追加疾患、および変更疾患(「乳児ポツリヌス症」「ポツリヌス症」定疾患「急性脳炎」全数疾患「急性脳炎」)です。「ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎を含む)」は平成14年11月に追加された疾患です。

旧システムにおける「ウイルス性肝炎」に含まれていた「E型肝炎」「A型肝炎」が独立した疾患となり、新システムにおける「ウイルス性肝炎」はE型肝炎、A型肝炎を除く肝炎となります。ウイルス性肝炎の累積については、旧システムでの累積に新システムでの報告が加わっていきます。なお、「E型肝炎」「A型肝炎」の累積は新システムで新たに開始しており、旧システムでの疾病詳細としての当該疾患の累積に加わるものではありません。

注)表の最後の注釈を参照して下さい。

報告数・定点当り報告数、疾病・都道府県別

平成16年8週

	インフルエンザ		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		百日咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	74828	15.90	590	0.19	5495	1.81	27730	9.11	6866	2.26	169	0.06	782	0.26	1832	0.60	25	0.01
北海道	5278	23.35	15	0.10	285	1.99	437	3.06	290	2.03	28	0.20	39	0.27	68	0.48	1	0.01
青森県	1159	18.40	1	0.02	25	0.61	155	3.78	51	1.24	1	0.02	6	0.15	16	0.39	-	-
岩手県	869	14.02	-	-	42	1.11	200	5.26	57	1.50	-	-	3	0.08	28	0.74	-	-
宮城県	717	7.88	13	0.22	183	3.10	614	10.41	146	2.47	3	0.05	30	0.51	57	0.97	-	-
秋田県	1511	27.47	3	0.09	115	3.29	208	5.94	65	1.86	21	0.60	1	0.03	18	0.51	-	-
山形県	293	6.10	11	0.37	154	5.13	226	7.53	62	2.07	2	0.07	15	0.50	25	0.83	2	0.07
福島県	971	12.14	3	0.06	91	1.90	443	9.23	115	2.40	-	-	3	0.06	29	0.60	1	0.02
茨城県	903	7.92	17	0.23	182	2.46	412	5.57	82	1.11	1	0.01	4	0.05	22	0.30	-	-
栃木県	427	6.10	4	0.09	79	1.72	368	8.00	59	1.28	4	0.09	12	0.26	12	0.26	-	-
群馬県	801	8.01	9	0.15	127	2.05	536	8.65	85	1.37	2	0.03	19	0.31	36	0.58	1	0.02
埼玉県	2452	9.65	18	0.11	373	2.35	1749	11.00	338	2.13	1	0.01	48	0.30	101	0.64	1	0.01
千葉県	1791	8.61	29	0.22	322	2.48	1088	8.37	363	2.79	4	0.03	50	0.38	70	0.54	-	-
東京都	1083	6.08	13	0.09	161	1.13	1212	8.54	173	1.22	1	0.01	51	0.36	62	0.44	1	0.01
神奈川県	2673	7.98	49	0.24	344	1.67	1680	8.16	458	2.22	1	0.00	88	0.43	149	0.72	1	0.00
新潟県	1634	16.51	31	0.52	300	5.00	426	7.10	161	2.68	-	-	41	0.68	40	0.67	1	0.02
富山県	664	13.83	13	0.45	190	6.55	275	9.48	43	1.48	5	0.17	18	0.62	28	0.97	-	-
石川県	1004	20.92	1	0.03	44	1.52	195	6.72	71	2.45	13	0.45	11	0.38	23	0.79	-	-
福井県	1055	32.97	6	0.27	91	4.14	213	9.68	49	2.23	18	0.82	10	0.45	20	0.91	-	-
山梨県	470	11.46	1	0.04	20	0.80	137	5.48	29	1.16	-	-	2	0.08	7	0.28	-	-
長野県	1284	14.76	8	0.15	155	2.82	419	7.62	163	2.96	1	0.02	19	0.35	31	0.56	1	0.02
岐阜県	828	9.86	32	0.60	49	0.92	318	6.00	122	2.30	1	0.02	9	0.17	15	0.28	2	0.04
静岡県	1789	13.06	9	0.10	103	1.20	1086	12.63	244	2.84	-	-	30	0.35	39	0.45	-	-
愛知県	2318	11.89	50	0.27	252	1.38	1606	8.82	328	1.80	3	0.02	58	0.32	111	0.61	1	0.01
三重県	1028	14.08	11	0.24	81	1.80	698	15.51	80	1.78	4	0.09	12	0.27	32	0.71	-	-
滋賀県	1023	20.06	3	0.09	55	1.67	197	5.97	64	1.94	5	0.15	9	0.27	17	0.52	-	-
京都府	1573	12.48	3	0.04	70	0.92	681	8.96	110	1.45	1	0.01	7	0.09	34	0.45	-	-
大阪府	3463	11.74	27	0.14	206	1.06	1463	7.50	335	1.72	6	0.03	29	0.15	87	0.45	7	0.04
兵庫県	3210	16.21	20	0.16	184	1.44	1450	11.33	323	2.52	20	0.16	31	0.24	81	0.63	-	-
奈良県	711	12.93	5	0.14	29	0.83	404	11.54	48	1.37	-	-	7	0.20	22	0.63	-	-
和歌山県	904	18.08	15	0.48	16	0.52	389	12.55	68	2.19	1	0.03	3	0.10	16	0.52	1	0.03
鳥取県	532	18.34	6	0.32	80	4.21	198	10.42	37	1.95	1	0.05	1	0.05	10	0.53	-	-
島根県	757	19.92	8	0.35	23	1.00	131	5.70	49	2.13	-	-	-	-	18	0.78	-	-
岡山県	1819	21.65	10	0.19	40	0.74	500	9.26	112	2.07	-	-	4	0.07	20	0.37	-	-
広島県	2166	18.05	20	0.27	90	1.20	665	8.87	150	2.00	2	0.03	15	0.20	47	0.63	-	-
山口県	1811	25.87	17	0.35	111	2.27	901	18.39	135	2.76	1	0.02	11	0.22	28	0.57	-	-
徳島県	497	13.08	13	0.57	30	1.30	325	14.13	62	2.70	8	0.35	5	0.22	14	0.61	-	-
香川県	945	18.53	2	0.06	28	0.88	350	10.94	74	2.31	-	-	3	0.09	17	0.53	-	-
愛媛県	1592	24.88	6	0.15	56	1.44	485	12.44	132	3.38	-	-	12	0.31	32	0.82	-	-
高知県	1030	21.02	5	0.16	66	2.13	197	6.35	55	1.77	-	-	-	-	13	0.42	-	-
福岡県	5323	26.88	11	0.09	330	2.75	1681	14.01	491	4.09	3	0.03	19	0.16	121	1.01	3	0.03
佐賀県	827	21.21	4	0.17	30	1.30	249	10.83	72	3.13	-	-	1	0.04	29	1.26	-	-
長崎県	2213	31.61	4	0.09	23	0.52	352	8.00	132	3.00	2	0.05	7	0.16	20	0.45	-	-
熊本県	2167	26.75	8	0.16	97	1.98	526	10.73	188	3.84	1	0.02	2	0.04	34	0.69	-	-
大分県	2478	42.72	9	0.25	37	1.03	565	15.69	113	3.14	-	-	28	0.78	37	1.03	-	-
宮崎県	2809	46.82	28	0.76	51	1.38	600	16.22	163	4.41	2	0.05	4	0.11	41	1.11	-	-
鹿児島県	2248	23.42	18	0.31	60	1.03	610	10.52	233	4.02	1	0.02	2	0.03	45	0.78	-	-
沖縄県	1728	29.79	1	0.03	15	0.44	110	3.24	86	2.53	1	0.03	3	0.09	10	0.29	1	0.03

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成16年8週

	風しん		ヘルパンギーナ		麻しん (成人麻しんを除く)		流行性耳下腺炎		急性出血性 結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ 肺炎	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	110	0.04	67	0.02	28	0.01	1603	0.53	26	0.04	566	0.89	10	0.02	13	0.03	84	0.18
北海道	-	-	1	0.01	-	-	53	0.37	-	-	23	0.79	-	-	-	-	1	0.04
青森県	1	0.02	2	0.05	-	-	29	0.71	-	-	5	0.45	-	-	-	-	5	0.83
岩手県	-	-	-	-	-	-	15	0.39	1	0.08	5	0.42	-	-	-	-	1	0.05
宮城県	3	0.05	2	0.03	-	-	26	0.44	-	-	5	0.45	-	-	-	-	6	0.50
秋田県	-	-	-	-	-	-	3	0.09	-	-	2	0.29	-	-	-	-	1	0.14
山形県	-	-	-	-	1	0.03	10	0.33	-	-	8	1.00	1	0.10	-	-	5	0.50
福島県	-	-	-	-	-	-	18	0.38	-	-	11	0.92	-	-	-	-	-	-
茨城県	1	0.01	-	-	1	0.01	7	0.09	1	0.06	32	2.00	-	-	-	-	5	0.45
栃木県	-	-	1	0.02	2	0.04	3	0.07	-	-	17	1.42	1	0.14	-	-	1	0.14
群馬県	19	0.31	3	0.05	-	-	56	0.90	-	-	31	2.21	-	-	1	0.10	-	-
埼玉県	9	0.06	4	0.03	2	0.01	99	0.62	1	0.03	19	0.53	-	-	-	-	-	-
千葉県	4	0.03	-	-	-	-	61	0.47	6	0.18	37	1.12	-	-	-	-	2	0.15
東京都	11	0.08	4	0.03	2	0.01	25	0.18	-	-	23	1.64	-	-	2	0.08	-	-
神奈川県	8	0.04	1	0.00	-	-	91	0.44	3	0.07	52	1.24	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	10	0.17	54	0.90	-	-	6	0.67	-	-	-	-	3	0.25
富山県	-	-	1	0.03	-	-	16	0.55	-	-	1	0.14	-	-	-	-	-	-
石川県	1	0.03	-	-	1	0.03	2	0.07	-	-	9	1.29	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	2	0.09	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	1.67	1	0.10	-	-	6	0.60
長野県	-	-	-	-	-	-	11	0.20	1	0.09	10	0.91	-	-	1	0.09	3	0.27
岐阜県	-	-	-	-	-	-	42	0.79	-	-	12	1.00	-	-	-	-	-	-
静岡県	1	0.01	-	-	-	-	59	0.69	-	-	17	0.85	-	-	-	-	2	0.20
愛知県	1	0.01	1	0.01	1	0.01	190	1.04	1	0.03	44	1.26	-	-	-	-	8	0.62
三重県	-	-	-	-	-	-	15	0.33	-	-	2	0.17	-	-	-	-	-	-
滋賀県	1	0.03	-	-	-	-	10	0.30	-	-	-	-	-	-	-	-	3	0.43
京都府	3	0.04	-	-	1	0.01	20	0.26	-	-	6	0.32	-	-	1	0.14	2	0.29
大阪府	2	0.01	7	0.04	2	0.01	94	0.48	3	0.06	16	0.33	1	0.07	3	0.20	1	0.07
兵庫県	-	-	2	0.02	2	0.02	119	0.93	-	-	27	0.75	-	-	1	0.08	-	-
奈良県	-	-	-	-	1	0.03	25	0.71	-	-	2	0.22	1	0.17	-	-	1	0.17
和歌山県	-	-	1	0.03	-	-	23	0.74	-	-	5	1.25	2	0.18	-	-	4	0.36
鳥取県	-	-	-	-	-	-	4	0.21	-	-	5	1.67	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	10	0.43	-	-	1	0.33	-	-	-	-	2	0.25
岡山県	-	-	1	0.02	-	-	22	0.41	-	-	13	1.08	-	-	-	-	3	0.60
広島県	-	-	11	0.15	-	-	31	0.41	-	-	15	0.75	1	0.05	2	0.10	5	0.24
山口県	-	-	2	0.04	-	-	108	2.20	1	0.11	8	0.89	-	-	-	-	3	0.33
徳島県	-	-	1	0.04	-	-	6	0.26	-	-	4	1.00	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	11	0.34	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	10	0.26	1	0.14	18	2.57	-	-	-	-	2	0.33
高知県	-	-	1	0.03	-	-	40	1.29	-	-	5	1.67	1	0.11	-	-	3	0.33
福岡県	10	0.08	7	0.06	-	-	90	0.75	2	0.08	13	0.50	1	0.07	-	-	3	0.20
佐賀県	-	-	-	-	1	0.04	21	0.91	-	-	2	0.50	-	-	-	-	2	0.33
長崎県	-	-	-	-	-	-	9	0.20	5	0.63	8	1.00	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	11	0.22	-	-	18	0.37	-	-	16	1.78	-	-	2	0.13	-	-
大分県	4	0.11	1	0.03	-	-	9	0.25	-	-	2	0.40	-	-	-	-	1	0.09
宮崎県	-	-	-	-	-	-	11	0.30	-	-	6	1.50	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	31	0.53	-	-	1	0.02	14	0.24	-	-	15	2.14	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	2	0.06	-	-	11	0.32	-	-	3	0.30	-	-	-	-	-	-

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別 平成16年8週

	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		成人麻しん		RSウイルス 感染症
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	
総 数	5	0.01	1	0.00	157
北海道	-	-	-	-	1
青森県	-	-	-	-	1
岩手県	-	-	-	-	...
宮城県	1	0.08	-	-	...
秋田県	-	-	-	-	1
山形県	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	7
茨城県	-	-	-	-	2
栃木県	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	...
埼玉県	-	-	-	-	1
千葉県	-	-	-	-	5
東京都	-	-	-	-	6
神奈川県	-	-	-	-	7
新潟県	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	3
石川県	-	-	-	-	1
福井県	-	-	-	-	-
山梨県	3	0.30	-	-	...
長野県	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	6
静岡県	-	-	-	-	13
愛知県	-	-	-	-	19
三重県	-	-	-	-	2
滋賀県	-	-	-	-	1
京都府	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	5
兵庫県	-	-	1	0.08	2
奈良県	-	-	-	-	...
和歌山県	1	0.09	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	2
島根県	-	-	-	-	5
岡山県	-	-	-	-	...
広島県	-	-	-	-	15
山口県	-	-	-	-	13
徳島県	-	-	-	-	...
香川県	-	-	-	-	...
愛媛県	-	-	-	-	3
高知県	-	-	-	-	10
福岡県	-	-	-	-	11
佐賀県	-	-	-	-	1
長崎県	-	-	-	-	1
熊本県	-	-	-	-	5
大分県	-	-	-	-	2
宮崎県	-	-	-	-	...
鹿児島県	-	-	-	-	6
沖縄県	-	-	-	-	...

定点把握疾患表注釈

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」の改正(施行日:平成15年11月5日、IDWR週報2003年43号参照)により、定点把握疾患の対象疾患、分類、疾患名の記載方法が一部変更されました。

改正により「RSウイルス感染症」が追加されましたが、ゼロ報告も含めて報告自体がなされていない都道府県(…)が多く見られ、その報告はまだ十分ではありません。そのため、「感染症週報」の情報還元としては、報告数のみの掲載とします。宜しく御理解ください。

感染症週報 第6巻 第8号 平成16年3月5日発行
発行: 国立感染症研究所

厚生労働省健康局結核感染症課
厚生労働省大臣官房統計情報部

事務局: 国立感染症研究所感染症情報センター

〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1

T E L : 03-5285-1111

F A X : 03-5285-1129

U R L : <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>

< 国立感染症研究所 感染症情報センター >

<http://www.mhlw.go.jp/>

< 厚生労働省 >

<http://www.forth.go.jp/>

< 旅行者のための海外感染症情報(厚生労働省検疫所) >

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上に訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。